

## コラム記事

2024年6月14日、非常にショッキングなニュースが日本中を駆け巡りました。

日本最大の動画配信サイトを運営する、「株式会社 KADOKAWA」のグループ企業における、情報漏洩、ランサムウェアを含む、サイバー攻撃によるニュースになります。

徐々に手口が明らかになる中、当サイトを拝見いただいている皆様に、より一層の注意喚起をさせていただきたく思います。

本コラムでは、被害事例とその対策について僭越ながら記載をさせていただきます。

是非、ご一読をいただけますと幸いです。



## 「サイバー犯罪集団による執拗な攻撃…」株式会社 KADOKAWA

(ITmedia NEWS 2024年07月03日 11時08分配信 より引用)

KADOKAWA は7月3日、6月に起きたサイバー攻撃を巡り、クリエイターや社員の情報に加え、N高などを運営する角川ドワンゴ学園の情報も漏えいした可能性が高いと発表した。N 中等部・N 高等学校・S 高等学校の在校生・卒業生・保護者の一部情報が漏えいした可能性が高いという。

KADOKAWA へのサイバー攻撃を巡っては6月27日、ランサムウェア集団・Black Suit が、犯行リストに社名を追加したと、複数の海外セキュリティ企業が報告。Black Suit が公開したとされる文書には、約1カ月前に KADOKAWA のネットワークにアクセスし、ドワンゴやニコニコを含むネットワークを暗号化したこと、その上で約 1.5TB のデータをダウンロードし、KADOKAWA と身代金に関する交渉をしていることなどが書かれていたという。



## [NEWS RELEASE]

2024年7月5日

株式会社KADOKAWA

情報漏洩に関するお詫びならびに  
漏洩情報の拡散行為に対する警告と法的措置について

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO：夏野剛）は、このたび、6月8日に発覚した当社グループのデータセンター内サーバーへのサイバー攻撃により、学校法人角川ドワンゴ学園の在校生・卒業生・保護者の皆様、読者やユーザー、作家・クリエイター、取引先、株主・投資家をはじめ、関係するすべての皆様に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

先週末より、サイバー攻撃を行ったとされる組織が、当社のグループ会社である株式会社ドワンゴが保有する情報の一部を漏洩させたとする旨の主張があり、その情報を公開しました。当該情報には社内外の一部個人情報や契約書情報などが含まれており、これにより角川ドワンゴ学園の在校生・卒業生・保護者の皆様、一部のクリエイターの皆様、お取引先の皆様、関係する皆様に重大な影響を及ぼす可能性がございます。

当社は現在、当該組織が公開したとする情報について、社内の記録と照合して検証するため、その収集作業を慎重に行っているところです。当該収集作業に時間を要しているため、現時点では漏洩された情報の確認が完了していない状況です。従って、インターネット上で流布されている書き込みにはフェイク・捏造情報が含まれている可能性もございます。

現在、匿名掲示板やSNSなどで、当該組織が公開したものとして、情報を拡散する行為が確認されています。他者の個人情報等を不正に発信する行為は、その行為自体が法的に罰せられる可能性があります。さらに、そのような行為は情報漏洩の被害を拡大させ、多くの方々の生活や事業活動に重大な影響を及ぼすだけでなく、今後の類似犯罪の増加を招く恐れがあります。これらの行為は絶対におやめください。

当社は、こうした不正行為に対して、断固とした姿勢で臨み、厳正な対応を行う所存です。本事業による角川ドワンゴ学園の在校生・卒業生・保護者の皆様、クリエイターの皆様、お取引先の皆様、関係者の皆様、当社従業員の二次被害を最小限に抑え、プライバシー保護のために全力を尽くしてまいります。弁護士と連携し、悪質な情報拡散を行う者には、法的措置を徹底的に講じます。

ご自身の情報が公開されている場合は、下記の窓口へご連絡ください。お手数ですが、ご連絡の際は、どの場所で、どの情報が、どのように公開されていたかの詳細を具体的にお知らせいただけますようお願い申し上げます。

(株式会社 KADOKAWA HP より抜粋)



---

今回、ご紹介をしている一連の事件では、身代金の支払いを行ったにも関わらず、データ復旧が出来なかったとの事です。警視庁からのお知らせ等にもあるように、身代金の支払いは控えていただくのが良いと弊社としては考えております。また、今回は大手企業を狙った「なりすまし」からの被害との事ですが、全国的にサイバー攻撃の被害は後を絶ちません。本コラムをご一読の皆様には、より一層の防御対策をお願いするとともに、関係者の皆様に注意喚起を行っていただけますと幸いです。